

# とやま県プラ



～富山市楡原から撮影した神通川～

## CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 通常総会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズ プラスチック業界：提言
- 7 総務委員会レポート
- 9 技術委員会レポート
- 10 会員広場
- 11 会員交流：つどいの場
- 13 会員企業による景況調査
- 15 プラスチック関連データ
- 16 共創

富山県プラスチック工業会  
2021.8 No.47

## アフターコロナ・新常态に向けて

富山県プラスチック工業会  
会長 八十島 清吉



この度、6月1日にホテルグランテラス富山で開催された第60回通常総会におきまして、私が会長に再任されました。私の会長就任は、前高田会長の「より多くの企業に会長企業として参画いただくことで、当工業会のさらなる活性化にもつながる」という強い信念で方針を示された後の2019年のことでもあります。以後これを実現すべく「任期は2年」との思いで運営してまいりましたが、コロナ禍に見舞われたことに起因し、最終的には変則ながら1年延長での承認を戴きました。あと1年、副会長、役員の皆様と共に工業会の運営にあたってまいりますので、引き続きご支援、ご指導をお願い申し上げます。

さて、昨年度はコロナ禍の中、前半は大半の行事が中止・延期となり、後半からは感染症対策を実行しつつ行事を再開してまいりました。昨年の書面表決から今年度はリアルでの理事会・総会、特に業界功労表彰・優良従業員表彰を、ご来賓お迎えの上で開催できましたことは、誠に感慨深いものがございます。

本号が発刊される頃には緊急事態宣言下でのオリンピックも開催されていると思いますが、どんな形での開催であれ、このスポーツの祭典が、コロナ禍で苦しむ人々に明日への希望と夢を与え、安心・安全を確かなものにすることで、後半のパラリンピック開催に繋がれば良いと願うものであります。

現在、我々を取り巻く環境は、コロナ関連では変異株やワクチン供給時期のミスマッチの問題、コロナ以外でも原材料・資源の高騰や米中分断問題等、課題山積ではありますが、ワクチン接種が軌道に乗り始めた今こそ、我々はアフターコロナの新常态下での新しい経営スタイル確立への検討を急ぐ必要が

あり、キーワードは、事業構造の変革（内需型事業強化）、先進諸国でも低位の労働生産性の向上、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、脱炭素化、ESG、SDGs等であります。昨年末の特別講演会で日本政策投資銀行の福井美悠氏から、「海洋プラスチック問題を契機に、プラスチックに関する政策は資源循環戦略に移行し、数々の制限が出てきていること。企業は3R（リデュース、リユース、リサイクル）や新素材開発（バイオマスプラスチック等）に向けた対処療法的な対応策を模索しているが、欧州起点のサーキュラーエコノミー（循環経済）への転換（日本も循環経済ビジョン2020を20年5月に発表）に見られる通り、資源循環を収益化するビジネスモデルへの転換による価値創造で経済成長に繋げる本質の変革が必要であること」、加えてSDGs対応等のお話を伺ったほか、本年総会では話題の「DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する国の施策と現況」を、インテックの北野景彦氏にご講演いただきました。今後とも旬の話題に関する情報を提供してまいります。

一方、自然災害では昨年もこの時期に熊本県、山形県で水害が発生し、今年も静岡県熱海市で、盛り土が問題視される大規模土石流が発生するなど、毎年、風水害に見舞われております。人間社会の活動が自然環境に影響を及ぼすことで「災害」となって跳ね返ってくることを重視し、業界としても脱炭素化を含めた環境問題への対応に注視しつつ対処していくことが重要であります。

会員企業の皆様には引き続き、工業会の行事、事業にご理解いただき、積極的にご参加いただきますようお願いし、私のメッセージといたします。

## 2021年度 第60回 通常総会開催

### ●通常総会

今年度の通常総会が6月1日(火) 午後2時からホテルグランテラス富山にて開催されました。八十島会長より、開会の挨拶があり、議長に八十島会長を選出して議案審議に入りました。

- 第1号議案 2020年度事業報告の件
- 第2号議案 2020年度収支決算報告・監査報告の件
- 第3号議案 2021年度事業計画(案)の件
- 第4号議案 2021年度収支予算(案)の件
- 第5号議案 役員改選(案)の件

#### 報告事項

全ての原案どおり可決承認され、総会審議を終了しました。

昨年からの新型コロナウイルス感染の影響にて前半の事業が中止となる中、富山県新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄付そして、新型コロナ対策を図り後半の事業を実施することが出来ました。今後も当工業会として、事業の充実や各企業の情報交換そして、技術研修の高度化を図っていくこととした。

### ●記念講演

今年度は、新型コロナウイルス感染の影響もあり、オンラインにて記念講演を実施しました。演題が「DXレポートから3年、国の施策と国内企業の現況」と題しまして、(株)インテック先端技術研究所 北野景彦様よりご講演いただきました。

今後、DXを推進する重要ポイント・取組みについての確なご説明をいただき、非常に有益な講演でした。会員の皆様からも興味深く好評を得ておりました。



総会



講演会の様子

## 挑戦・そして「夢」の実現を目指して

株式会社齊藤製作所  
代表取締役社長 齊藤行男氏

創業75周年を迎え、医療品・化粧・溶剤容器や精密部品製品製造と、高い品質を有する、ものづくり企業です。齊藤社長は、社員と共に新たな「夢」の実現に向けての挑戦の姿・取組みについて、西村編集委員にインタビューをしていただきました。

【インタビュアー：会報編集委員  
三光合成(株) 西村 源信氏】

### 1. 創業の経緯と社業・社歴をご紹介ください。

#### ※齊藤コルク製作所の創業

戦後の1946年(昭和21年)5月、齊藤守三氏(故人)は、氷見市仏生寺において齊藤製作所の前身である齊藤コルク製作所を設立し、薬品用ガラス瓶のコルク栓の製造・販売業をスタートした。又、業績の進展に伴い、1951年(昭和26年)富山市大泉へ移転した。

#### ※プラスチック製品開発から企業成長へ

昭和30年代に一早く新素材のプラスチックに着目され、ユリア樹脂清涼剤容器の製造販売を開始し、社名も「齊藤容器製作所」に改称された。そして、スチロール製「清涼剤容器」や高密度ポリエチレン製「目薬容器」の製造販売を開始した。1964年(昭和39年)富山市赤田に本格的な成形工場を建設し移転した。新しい成形法・成形システムを率先して導入、次々とプラスチックの特性を活用した製品開発に取組まれた。医薬品容器メーカーとして高いブランドとして信頼を確立した。

#### ※新しい分野への取り組み

1965年(昭和40年)ごろより、工業分野の開発に着手され、精密工業部品を2本目の事業の柱として成長した。1972年9月、社名も、(株)齊藤製作所に改称された。その後、富山県、中小企業庁より合理化モデル工場としての指定を受ける。

#### ※夢の工場完成とさらなる飛躍

1994年2月に富山県大沢野にて新工場を移転した。



先代社長の齊藤恵三氏(故人)は、3K(環境・健康・感性)産業への創造を模索して、「夢の工場」を目指してI-FA化(インテリジェント・フリシキブル・オートメーション)や当時は最先端となるクリーンルームを採用して、働く従業員を重視した職場を両立させた工場を実現させた。その先進的取組が、フランス雑誌・新聞社からのインタビューを受け、大変話題を呼びました。現在も、「人と環境にやさしいクリーンファクトリー。それが私たちの誇りです。社員一同」の合言葉となり、その思想が引き継がれている。

### 2. 社長に就任され、これまで印象に残る経営面や取り組みについてお聞かせください。

近年、薬品メーカーからも段々とクリーン度の要求が高くなり、追加設備の投資を実施すると共に、新技術(多層ブロー機)を導入した。商品群においては、浣腸容器が国内・海外においてグッドデザイン賞の受賞や、特殊ジャバラ構造のサプリメント容器そして、バイオマス材の商品開発を手掛けてきました。先代社長はエンジニアでもあり、商品開発・技術挑戦をする姿を見てきました。今後の企業成長の基本となるものづくりは、人であるとの強い思いがあります。社員にはシンプルに企業理念でもある、「ものづくりを通してお客様と社員の夢と幸せと笑顔を育み社会に貢献する」を伝えている。共に「夢」への実現を目指すことにより、ベクトルを合わせた「ものづくり」ができないかと発信し続けている。人に伝える

創造力と先進性を、豊かな文明のために

株式会社 碓井製作所

〒930-0357 中新川郡上市町正印3の1  
TEL(076)472-4605  
FAX(076)472-2908

Clean Factory Since 1946

Clean Factory

生命を守る医療用のパッケージから、私たちは、Clean Technologyをベースにクリーンな工場での安心できる製品を創製しています。

SAITO  
Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 齊藤製作所  
〒939-2251 富山県富山市下大久保 61  
Tel(076)488-2727 Fax(076)488-3911  
URL : http://www.saito-inc.com

事、理解してもらう事が大変難しく、何度も繰り返しの日々である。学生採用においても、働く意味・夢について聞いてみると、分からないとの回答も多くあるが、本気で話しをするといろんな相談・質問が出てくる。本気・熱意をもって取り組んで行くことが重要である。

### 3. 人材育成の取り組みについてお聞かせください。

会社を成長させるためにも、社員一丸となって立ち向かわなければなりません。そのためにも、以下の4項目を実践し、人としての成長・企業人としての成長を図っています。

#### ① 社員ニュース発刊

先代社長から引き続いて毎月発行して、社長の思い・考え方を発信している。

#### ② 本の感想文の提出

自分の考え・感想をまとめる力の育成。

#### ③ 社外の研修会への参加や他企業との交流会

プラスチック工業会の研修会や各セミナーへ、積極的な参加を推進している。いろいろな場を与えて、知識を習得して業務に生かしてほしい。又、他企業との交流会にて、お互いの工場視察・意見交換により、自分たちが気づかない点の改善や知見を広めることが出来ている。

#### ④ 社員の発表や話しをする場の設定

人前で話しをする訓練や自分の意見をまとめる力を養う。



### 4. 従業員の皆さんに望むこと、伝えたいことは何でしょうか。

今年度は齊藤社長より、『意識改革は、「プラスちっく」に考えて次代を創造する。』と社員に発信している。難題にもプラス思考を持って行動して、次の時代に新たなものを造り出して欲しいと望んでいます。「いつまでも同じ仕事があると思うな、先は分からない、世の中が変わっていく」だからこそ、社員一丸となって取り組む重要性を、熱意をもって言われていました。

### 5. 座右の銘や、ご趣味についてお聞かせください。

座右の銘ではないが、先代の社長(父)の言葉でもある、「誠実と信用を基とし、堅実経営をもって貫く」を、私の基本姿勢として会社経営して行きたい。バブル時代においても、堅実経営・ものづくりに真摯に向き合ってきたことが、会社の基礎となっている。

学生のころからバイクが趣味です。最近遠乗りする機会が少なくなりましたが、天気の良い日は、早朝に氷見海岸をツーリングすると気分転換にもなります。バイクの特別指導員の資格を有し、安全運転には十分に注意しています。

又、お酒が好きで、炭火バーベキューとワインにて鋭気を養っています。

#### 【インタビュー後書き】

今回のインタビューで、齊藤社長の社員に対する熱意を強く感じました。毎月、社員ニュースを発刊され、社長の思いを発信されていること。また、社員自ら考えて行動できるよう、色々な仕掛けを実行しておられます。今後、社員の皆様が成長され、会社も更に発展されるものと確信します。



齊藤社長(右) インタビュアー(左)

#### 【会社概要】

会社名 株式会社齊藤製作所  
 本社工場 富山県富山市下大久保61  
 設立 昭和35年3月15日  
 資本金 2,000万円  
 事業内容 プラスチック製品の製造販売  
 及び関連業務

#### (詳細製品群例)

医療品、化粧品、液剤、各種の容器  
 医療器具・精密工業部品

**三光合成株式会社**  
 SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200  
 1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN  
 TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925  
<http://www.sankogosei.co.jp/>

#### 安全と清潔を売る包装の

**Daiki** 株式会社 **ダイキ**

本社・工場 〒939-0418 富山県射水市布目沢201  
 TEL(0766)53-1331(代) FAX(0766)53-1330  
 URL <http://daiki.org>

## 「巨大な相手こそ 目標設定と課題形成で果敢に挑む！」

伊藤英樹技術士事務所

所長 伊藤英樹氏



「人類滅亡の日まであと〇〇日」。これはアニメ「宇宙戦艦ヤマト」のエンドロールの言葉である。筆者と世代が前後する方は多感な少年時代に少なからず影響を受けたのではないだろうか。

「2050年までに脱炭素社会を実現」。2020年10月の国会での宣言は、これまでにないくらい明確に期限が切られた目標である。身の周りでは集中豪雨による自然災害、気温上昇、豪雪などの異常気象が発生しており、因果は疑いようもなく、目標への取り組みは待ったなしである。しかし、取り組む相手が巨大だと、どこから手を付けるべきか見当を付けることが難しい。そこで標題の「課題形成」について少し述べさせていただきたい。

筆者は「人が機械に意思を伝えるための製品（キーボード、マウス、タッチパネル等）」の企画・開発・設計から評価・量産に長く携わってきた。これら製品の多くがプラスチックから構成されており、自身も過去に苦しんだ設計に関する知見を若い技術者へ伝えるべく、人財育成事業を行う大学や法人、民間企業等において指導を行っている。

さて「課題形成」とは「目的-手段」系の品質手法の要である。ここで「課題」とは「果たすこと」であって、一般に言う「困りごと」ではない。

目標実現のためには、①目標が実現した未来の状態を鮮明にイメージして可能な限り定量化し、②直視したくない現状であっても曖昧とせずオープンにして定量化する。そうすると差分（=①-②）が

自明となる。この差分を「問題」と定義する。話し言葉や報道で多用される問題（困りごと、トラブル、Question等）とは意が異なる。目標実現とはすなわち「問題をゼロにする（=問題解決）」である。「問題解決」のための具体的な取り組みが「課題」である。課題は何もせずに湧き出る代物ではなく、脳に汗をかきながら知恵を絞り出して形成する。この作業が「課題形成」である。課題形成で重要なのは取り組みと効果をセットにすることである。課題は「△△（実施対象）を□□（実施方案）することで〇〇（定量効果）を得る」と表現する。次は「課題を果たして達成」し、効果を楽しむ。なお、目標が30年のスケールとなると、経時で様々な事象が変化して絡み合うため見通しが困難となる。適度な時間単位で最も良いと思われる目標（仮説）を立案し、課題形成して前進すれば良い。目標実現した山頂から都度見晴らし、さらに先の目標を設定する。

設計者は今後、自己の製造工程だけでなく、前工程の材料、後工程の使用および廃棄の全工程をトータルで脱炭素設計が必要となる。取り組みに当たっては、目標実現へ向けた「果敢な課題」を形成して挑んで欲しい。

冒頭の続き。地球に無事帰還して話は終わるが、その後の地球復興の取り組みがあったはずである。復興の様相を想像してみると、問題解決や課題形成のヒントになるかも知れない。地球を美しい姿で伝えていくため、目標実現へと行動を始めましょう！

— Plastic 豊かな未来をひらく —

 **太平株式会社**  
TAIHEI Co., Ltd.

〒939-1690 富山県南砺市福光737  
TEL(0763)52-1136  
FAX(0763)52-6116



 **TAKAGI SEIKO**

革新を続けるプラスチック創造企業

株式会社 **タカギセイコー**

代表取締役社長 高木 章裕

本社／富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522(代)

## 労務研修会

### ●2020年度 労務研修会Ⅲ

今回の研修内容では、「同一労働同一賃金」の法律要件を踏まえて、最高裁判例の争点のポイント説明そして、企業における課題及び改善点等について、大変分かりやすく説明していただきました。

日 時：2021年1月26日(火) 14:00～15:30

場 所：富山技術交流センター 2階 大研修室

演 題：「令和2年10月 最高裁の同一労働同一賃金判決」

講 師：社会保険労務士法人 片境事務所 代表社員 片境 一暎 氏

出席者：11社11名



研修風景

#### ★受講感想 (株)齊藤製作所 杉本 友希

今回は「同一労働同一賃金」が令和3年4月より中小企業でも施行されることから、社内での対応策を学ぶ機会として参加を希望しました。研修内容の最高裁判決には正社員と有期雇用契約者の労働条件が深く関係していました。今回の判例をふまえ、適切に対応していきたいと思います。また、資料に加え、内容のポイントを交えてご説明いただき、大変わかりやすく理解が深まりました。

### ●2021年度 労務研修会Ⅰ

「高年齢法改正70歳までの就業に関する法律」として、法律改正の解釈そして、裁判例よりの重要点や課題等説明いただきました。受講者の皆様にとって非常に有意義なセミナーでした。

日 時：2021年6月10日(木) 14:00～15:30

場 所：富山技術交流センター 2階 大研修室

演 題：「高年齢法改正70歳までの就業機会確保

～法律をおさえて実務をする～」

講 師：社会保険労務士法人 片境事務所 代表社員 片境 一暎 氏

出席者：11社11名



研修風景

#### ★受講感想 太平(株) 高田 彩那

「高年齢法改正70歳までの就業機会確保」の研修会に参加し、新たに加わる創業支援等措置について学びました。実際にあった裁判例を基に押さえるべきポイントを説明していただき、実務において業務委託としての働き方と労働者性としての働き方の線引きが難しく感じられました。従業員の高年齢者が増える中、就業機会を確保する選択肢の1つとしてニーズに応じて措置を講じていきたいです。

## 青年部会研修会

### ●第1回青年部会研修会（経営研修）

今回の経営研修内容では、日本・企業のデジタル化の遅れの理由や課題を指摘され、IT・DXを推進する必要性を説明されました。そして、RPA（Robotic Process Automation）のソフトを活用した改善例・ロボ化業務検討シートの活用含めた改善方法について講義をいただきました。最後にIT経営をするためにも、社内でのシステムを構築する環境や人材育成が重要であると締めくくられました。受講者にとって、自社の業務改善へのヒントにもなる、非常に有意義な講演となりました。



研修風景

日 時：2021年6月17日（木） 14：00～15：30  
 場 所：富山技術交流センター 2階 大研修室  
 演 題：「コロナ禍だからこそできる社内のIT人材育成の挑戦」  
 ～RPAを用いた社員の理論的思考の芽生え～  
 講 師：イセ株式会社 代表取締役社長 伊勢 豪範 氏  
 出席者：9社10名

#### ★受講感想 阪神化成工業(株) 石金 満

中小企業の人材不足の課題ではIT化は必須であり、生産性を高めることにも繋がることから、会社にそういった人材を育てる環境づくりが必要であることを説かれていました。中でもRPAという自動化技術の導入は主にPC上でおこなう事務作業の分野で導入が進んでいることを知りました。伊勢社長ご自身の会社やお世話されている会社の事例紹介は大変参考になるものでした。また、ソフトを使った実演からもRPAでのシナリオ作りは大変分かり易く、実際の業務に導入できそうなイメージを持つことが出来、大変有意義な研修でした。

## 経営セミナー

第1部は、IoT・AI導入課題より活用方法や取組み方そして、支援方法についての説明又、現場でのデータ収集方法・分析含めた技術的手法について、詳細な説明をいただきました。非常に内容の濃い講演でした。第2部は、近年の国際的社會や政府・県よりSDGsの積極的な推進そして、TV等のメディアにおいても多々報道がされています。今後の企業においても、SGDsが企業の存続条件又、ビジネスチャンスでもあり、取り組むことの重要性について講演をいただきました。

今回の経営セミナーの演題であるIoT/AIやSDGsとも、企業発展のキーとなる取組みでもあり、大変に有意義な講演でした。

日 時：2021年7月15日（木） 14：30～16：30  
 場 所：富山産業展示館（テクノホール）東館2階大会議室  
 出席者：18社35名

#### 【第1部講演】

演 題：「IoT・AIワンストップ導入支援の取組み」  
 講 師：公益財団法人富山県新世紀産業機構 イノベーション推進センター  
 IoT等推進コーディネーター 水原 久佳 氏 富成 敬之 氏



水原講師（右） 富成講師（左）

#### 【第2部講演】

演 題：「なぜSDGsが必要なのか」  
 講 師：ミュキ化成株式会社 代表取締役会長 延澤 泰明 氏



延澤講師

#### ★受講感想 (株)碓井製作所 中田 実

経営セミナーを受講したことで、「IoT・AI」や「SDGs」について、自身の理解度が不十分であったと感じました。

「IoT・AI」についてはあくまで手段であり、自社の課題解決に向けて、どのように活用していくかを、時には専門家の意見も踏まえ考えていきたいと思えます。「SDGs」については、社内ですらに理解を深め、現状を把握して、優先課題や目標の設定を検討するなど、それぞれに対する第一歩を踏み出していこうと考えます。

## 研修講習事業

### ■前期レベルアップ研修会

日 時：2021年4月6日(火)～28日(水) 9：00～16：00

場 所：ポリテクセンター富山

参加者：32名



研修風景

## 講習事業

### ■射出成形実技講習

日 時：2021年5月11日(火)～6月17日(木)

9：00～16：00

場 所：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏 渡辺 秀夫氏

受講者：1級32名 2級62名



射出成形実技講習

### ■射出成形学科講習

日 時：2021年7月3日(土)

9：00～15：00

場 所：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏

受講者：1級11名 2級28名



射出成形学科講習



TOYOKAKO

優れた技術と確かな品質でお応えします。

東洋化工株式会社

取締役社長 中田 守人

〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地  
TEL (076) 475-2125 FAX (076) 475-9471

Connect to the Future  
**TOYOX**<sup>®</sup>  
URL : <https://www.toyox.co.jp>

株式会社トヨックス 〒938-8585 富山県黒部市前沢4371  
TEL 0765 - 52 - 3131  
支店：東京・名古屋・大阪



阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山市小中163番地  
TEL (076) 429-1865  
FAX (076) 429-6042  
URL <https://www.hanshin-group.co.jp>

## 業界功労表彰・優良従業員表彰

6月1日（火）にホテルグランテラス富山にて表彰式が開催されました。

表彰式では八十島会長より永年に亘る貢献への労いと、今後も健康に留意し更なる活躍を期待する挨拶と、来賓代表として（公財）富山県新世紀産業機構 伍嶋 二美男理事より、お祝いのお言葉がありました。今回は新型コロナウイルス感染対策にて、業界功労表彰 四辻直也様と、優良従業員表彰を代表して赤井真理子様へ表彰状を授与されました。表彰された皆様、本当におめでとうございました。

### ■業界功労表彰者

氏名	企業名
四辻 直也	ミユキ化成(株)

### ■優良従業員表彰者

氏名	企業名
赤井真理子	阪神化成工業(株)
五十嵐哲夫	ミユキ化成(株)
石崎 真一	ミユキ化成(株)
浦 辰芳	五栄化学工業(株)
川田 純子	(株)大樹
軍記絵里子	テクノプラス(株)
坂田 浩次	(株)トヨックス
杉林 紀明	(株)斉藤製作所
塚原 健一	高陵プラスチック工業(株)
出口 博	(株)タカギセイコー
寺崎 真一	(株)碓井製作所
中島 英史	小林製薬ブラックス(株)
根塚 直希	ファインプラス(株)
平野恵李子	(株)トヨックス
細野 浩之	(株)コージン
堀田 正和	(株)コージン
牧野 吉成	阪神化成工業(株)
松井 貴志	(株)リッチェル
水野 貴史	三光合成(株)
村中 一平	(株)タカギセイコー
湯浅 忠司	三光合成(株)



八十島会長



(公財) 富山県新世紀産業機構 伍嶋理事



八十島会長より表彰状授与

未来への限りない挑戦  
プラスチックの総合メーカー



ミユキ化成株式会社

代表取締役社長 延澤 隆史

〒939-0351 富山県射水市戸破53-14  
TEL(0766)56-9500(代) FAX(0766)56-9495  
URL:<http://www.miyuki-kasei.co.jp>



Richell

暮らしに笑顔を咲かせます。

株式会社 リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592  
TEL(076)478-2155 <http://www.richell.co.jp>

園芸用品・ペット用品・ベビー用品・ライフケア用品・家庭用品・業務用品・  
環境エコ用品・エクステリア用品・バイオ関連用品等の製造販売

(広告は、企業名の50音順で掲載しています)



## 押出成形ラボ



押出成形ラボURL：<https://oshidashiseikei-lab.com/>

三協化成株式会社  
代表取締役 芝田 亮

〒939-0143 富山県高岡市福岡町下向田3-1  
TEL (0766) 64-5750 FAX (0766) 64-3314

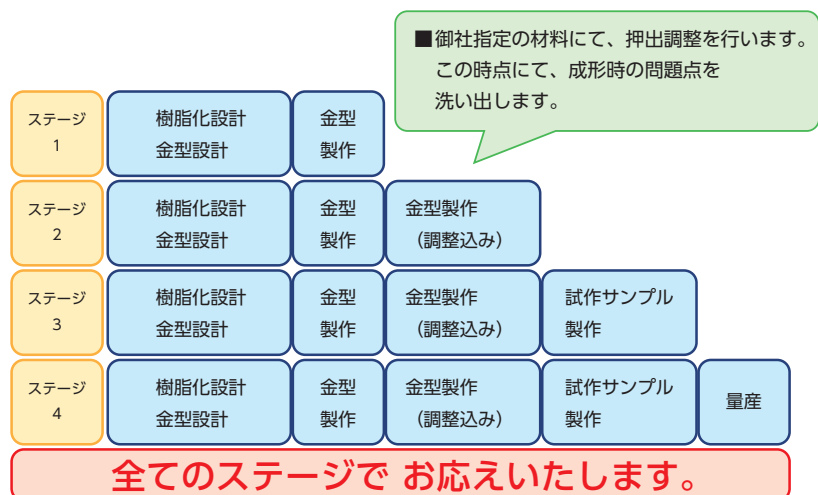
### 押出成形ラボについて

押出成形ラボは三協化成株式会社が運営しており、設立45年間培った豊富な製品事例を基にプラスチック押出成形に関するお困りごとを手助けする情報をまとめた問題解決型サイトです。

押出成形ラボでは金型設計段階でのコストダウン案を掲載しているVA・VEコストダウン事例やプラスチック押出成形のトラブル解決事例集などを掲載しているお役立ちコラムがあります。

その他、VA・VEコストダウン事例集がある資料ダウンロードや押出成形ラボの製品実績など豊富なラインナップとなっています。

### 押出成形ラボ・三協化成の生産対応体制



押出成形ラボを運営する三協化成株式会社ではご希望の製品のデザインを形にします。  
プラスチック製品成形に関する「樹脂化設計」に我々の知見でお応えします。「樹脂化・金型設計」のみから「製品量産」まで全てのステージで対応可能な体制を整えております。

## 住友重機械工業株式会社

本社 〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1  
Tel:03-6737-2588 Fax:03-6866-5184

北陸営業所  
〒939-8204 富山県富山市根塚町1-8-12  
Tel:076-491-5345 Fax:076-491-5377



千葉製造所

### 当社について

1888年(明治21年)、別子銅山の工作機械営繕部門として創業以来、社会と産業の発展とともに歩んできました。射出成形機事業の源流は、当社がまだ住友機械工業(株)だった頃に、愛媛県新居浜市で電線被覆機械を製造していたことにあります。1961年に一般プラスチック加工機へ参入し、1965年に現在の千葉製造所を開設しました。

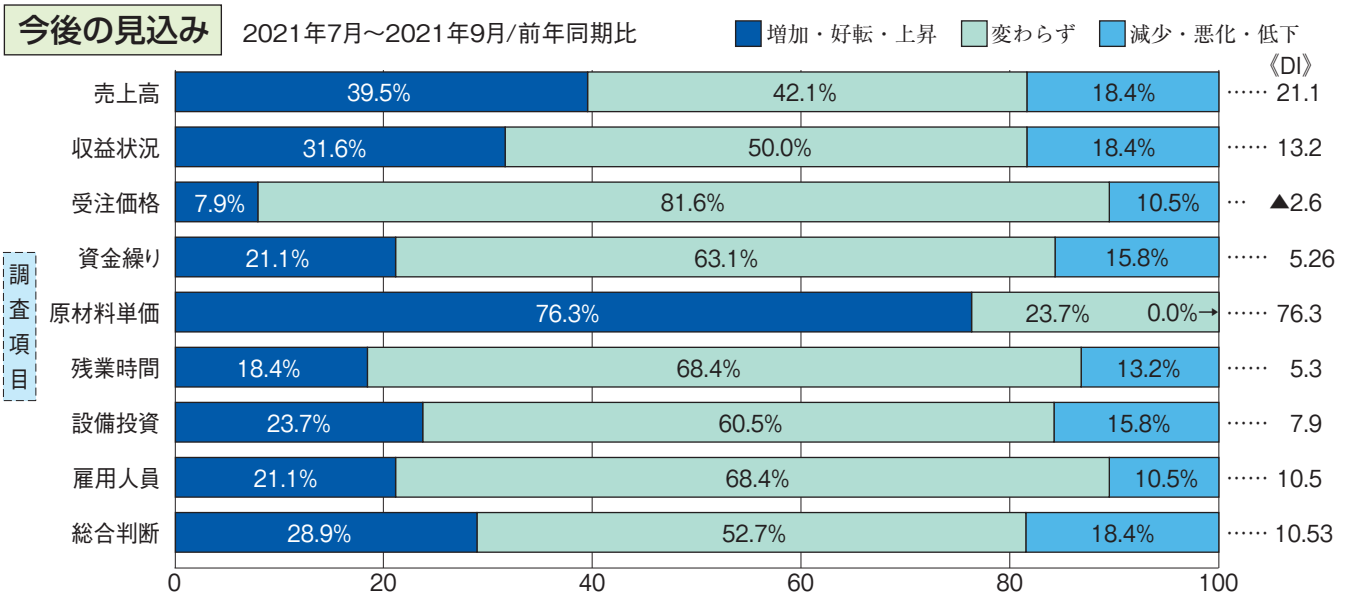
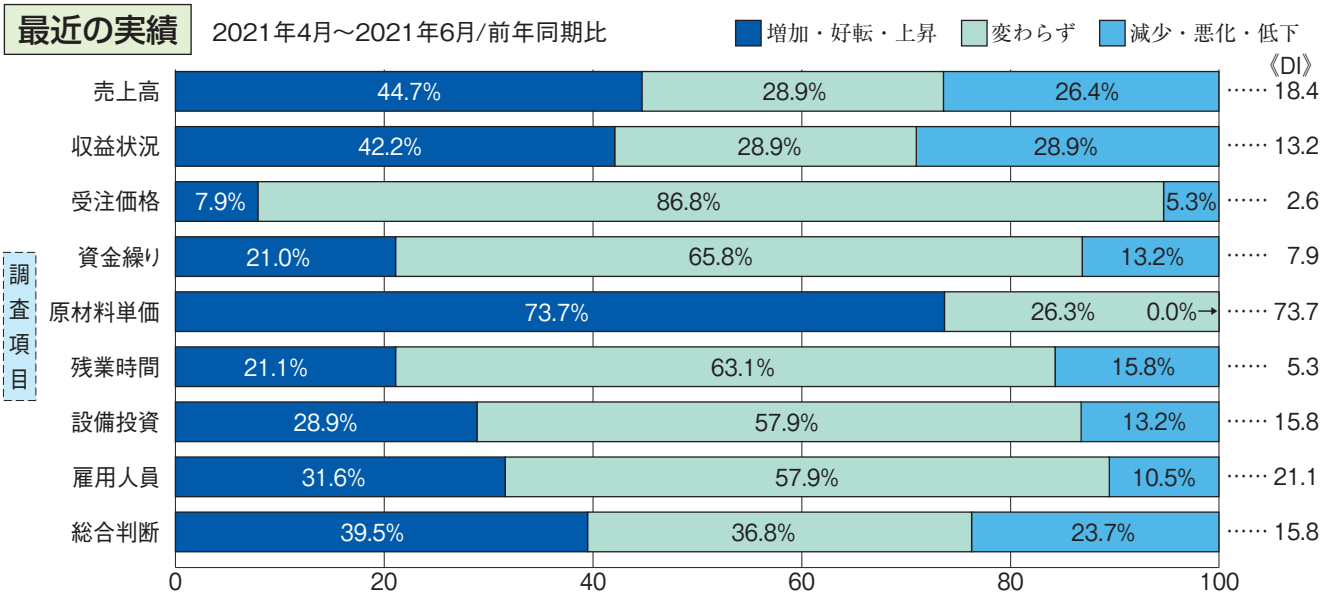
### 当社の主な事業内容

- ・射出成形機の製造・販売・サービス

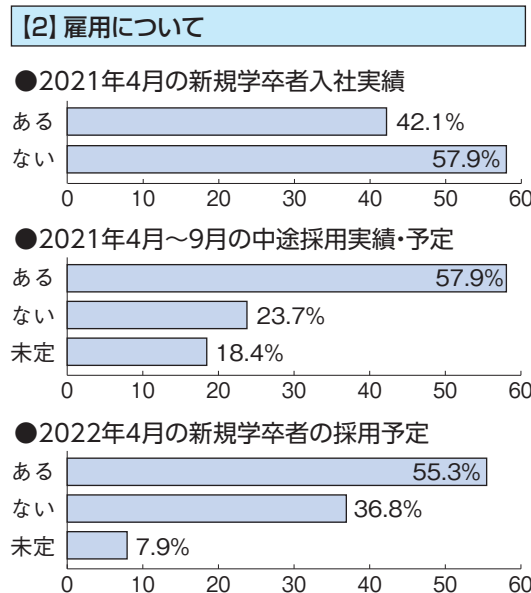
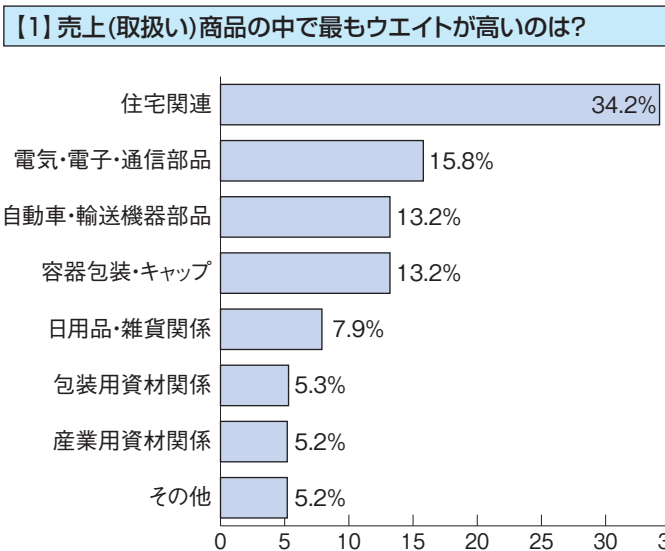
### 当社の取組み

精密・ハイサイクルを強みとしており、その特徴を活かして、スマートフォン向けなどの高機能部品用途や、自動車向けの軽くて丈夫な部品用途でイノベーションを後押しし、また、生活・医療向けには衛生的な各種容器を届けることでも、安心・安全をはじめとした豊かで便利な生活を実現することに役立っています。

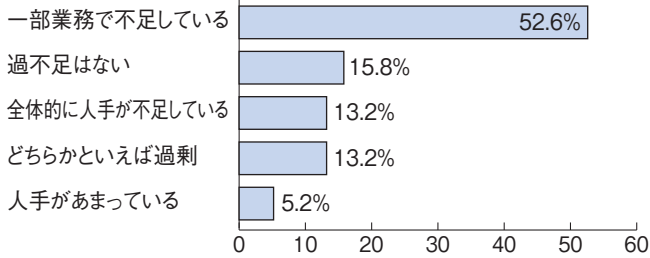




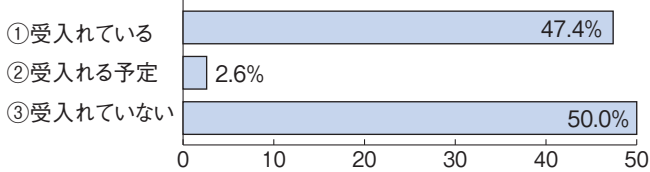
(38社回答)



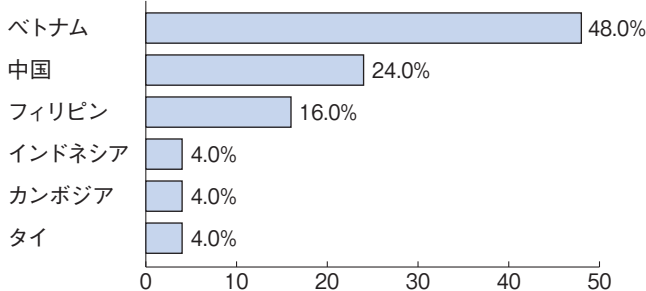
### [3] 現在、貴社の人員の充足感について



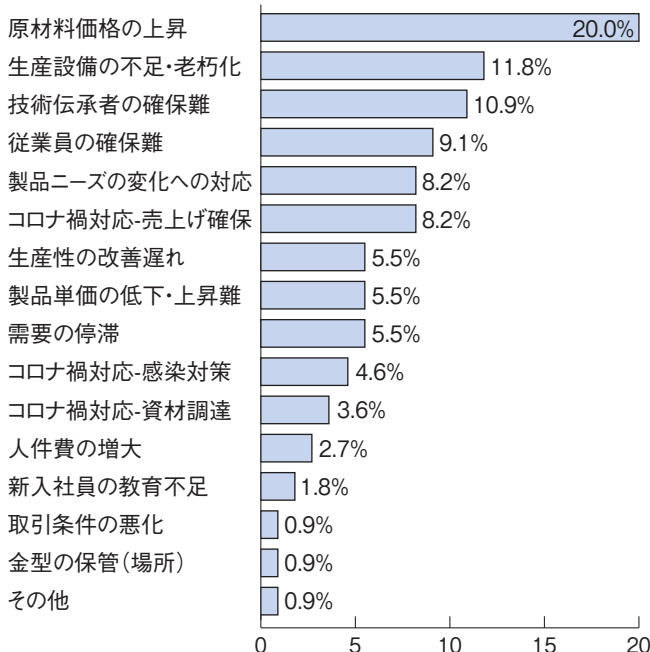
### [4] 外国人実習生の受入状況について



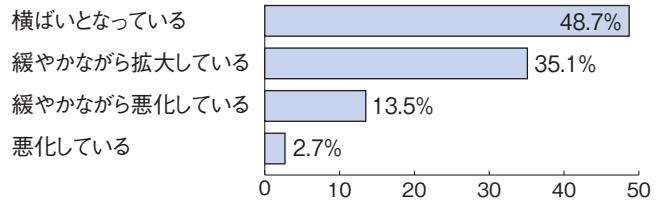
### [5] 問[4]の①又は②の出身地は？



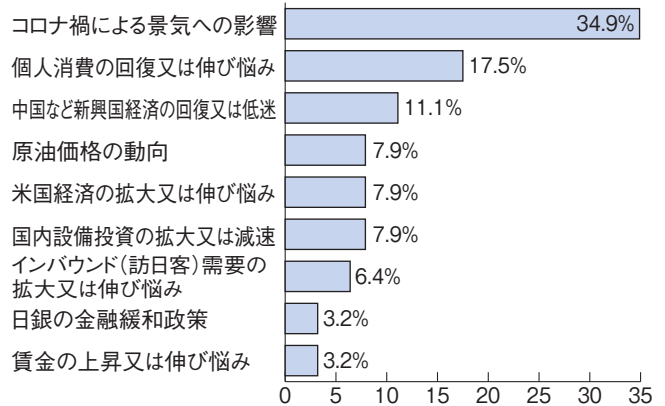
### [6] 今季直面している経営上の問題点について (2021年4月～6月まで)



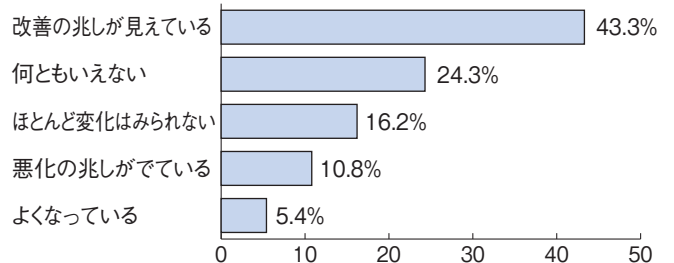
### [7] 現在の国内景気をどのように認識されていますか？ (前回の調査：2021年1月、3月と比較して)



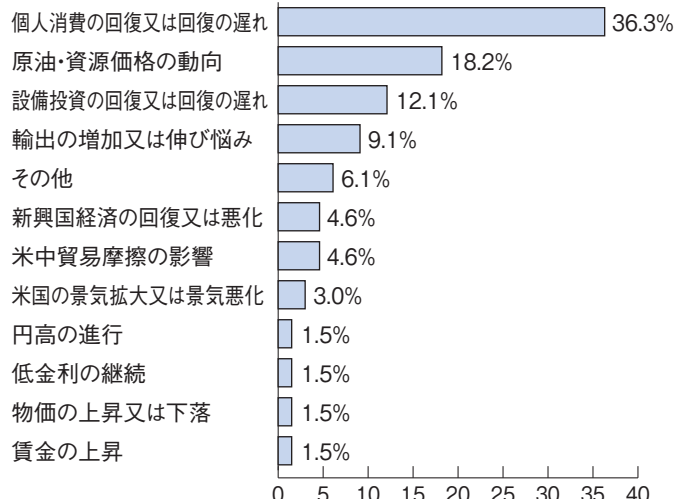
### [8] 問[7]のそれぞれの要因について



### [9] 今後の国内景気は、現在と比較してどうなると思いますか？ (2021年9月頃)



### [10] 問[9]のそれぞれの要因について



## 加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
	計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体			
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
2015	14,434	206,261	12,471	156,333	3,777	25,016	4,871	45,397	3,058	46,587	765	39,333	453	20,187	966	11,797	544	17,944
2016	13,650	196,557	11,702	141,377	3,697	23,898	4,418	39,287	2,841	41,733	746	36,459	411	23,606	887	10,658	650	20,916
2017	16,508	217,490	14,353	161,943	5,092	31,904	5,536	48,749	2,843	41,056	882	40,234	513	17,644	995	16,677	647	21,226
2018	17,031	222,194	14,950	173,817	5,409	35,315	5,506	49,008	3,248	47,091	787	42,403	500	16,213	916	12,965	665	19,199
2019	14,809	208,416	12,753	156,256	4,689	30,676	4,290	40,158	3,027	43,735	747	41,687	472	24,797	1,095	12,070	489	15,293
2020.11月	1,028	12,758	929	10,418	265	1,673	334	3,083	290	4,292	40	1,370	19	459	44	753	36	1,128
前年同月比%	94.2	82.6	100.9	87.6	76.6	75.0	107.1	107.4	145.7	146.8	62.5	35.4	39.6	28.4	51.2	80.7	100.0	113.4
2020.12月	1,217	30,151	1,100	13,568	273	2,034	464	4,046	308	4,464	55	3,024	20	14,273	43	318	54	1,992
前年同月比%	118.4	209.3	124.0	129.0	83.2	96.0	160.0	155.3	146.0	168.1	94.8	96.4	57.1	844.1	55.8	21.8	186.2	270.3
2021.1月	1,115	15,141	1,037	11,526	308	1,911	408	3,426	268	3,834	53	2,355	23	2,442	24	182	31	991
前年同月比%	116.5	117.5	125.8	111.8	101.3	98.4	138.8	127.0	149.7	137.2	112.8	81.9	63.9	256.5	30.4	19.4	172.2	144.3
2021.2月	1,268	18,521	1,093	12,222	295	1,922	465	4,001	293	4,492	40	1,807	33	2,274	96	2,374	46	1,651
前年同月比%	139.0	150.3	133.0	126.5	83.6	85.4	183.1	161.3	162.8	165.2	114.3	81.6	117.9	298.0	282.4	265.5	164.3	165.3
2021.3月	1,499	20,674	1,361	16,108	375	2,387	546	4,876	378	5,591	62	3,254	26	1,831	64	967	48	1,768
前年同月比%	128.7	126.6	134.4	120.9	79.6	77.0	177.3	177.8	194.8	178.8	155.0	96.9	74.3	252.6	65.3	79.9	252.6	164.8
2021.4月	1,336	16,501	1,232	13,223	333	2,098	524	4,821	339	4,989	36	1,315	23	1,550	50	537	31	1,191
前年同月比%	143.5	137.3	154.0	139.0	93.3	87.1	189.2	191.8	269.0	259.0	90.0	49.4	51.1	180.4	80.6	63.5	129.2	148.0

## 原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
2015	10,798,776	278,253	2,609,408	1,210,479	2,500,500	152,997	1,646,112	294,449	100,108	431,088	188,565	1,386,817
2016	10,715,345	288,578	2,568,979	1,183,264	2,466,311	144,949	1,650,883	292,520	104,181	418,370	171,368	1,425,942
2017	10,560,134	301,939	2,654,815	1,240,813	2,505,540	154,919	1,705,921	310,179	115,184	0	110,121	1,460,703
2018	10,241,761	302,164	2,466,620	1,236,915	2,357,807	151,603	1,690,288	320,793	119,256	0	120,828	1,475,487
2019	10,100,761	288,752	2,447,909	1,172,580	2,439,862	142,949	1,732,545	297,505	100,698	0	114,513	1,363,448
2020.11月	808,901	23,644	194,139	90,066	216,628	9,222	130,724	17,740	4,232	0	8,776	113,730
前年同月比%	95.0	97.7	88.0	98.1	100.6	117.2	91.7	73.5	157.8	0.0	118.3	99.5
2020.12月	860,366	24,345	197,485	102,960	222,843	11,627	141,717	24,885	9,564	0	10,500	114,440
前年同月比%	98.4	104.4	93.3	113.0	101.5	119.8	88.9	88.5	103.4	0.0	100.6	102.3
2021.1月	891,119	22,261	212,461	104,039	233,319	13,383	141,139	29,063	12,324	0	9,575	113,555
前年同月比%	101.7	98.5	98.7	106.5	109.3	118.1	91.4	113.0	108.1	0.0	91.8	99.6
2021.2月	803,625	24,139	188,466	102,566	176,460	10,934	139,510	27,803	10,420	0	9,675	113,652
前年同月比%	95.8	103.0	97.4	116.1	81.4	103.5	94.9	100.3	107.9	0.0	104.4	101.1
2021.3月	848,469	26,687	224,518	93,690	195,698	13,291	123,911	27,062	11,611	0	10,780	121,221
前年同月比%	110.1	114.5	140.1	101.2	102.9	127.2	95.5	92.7	122.9	0.0	112.6	104.3
2021.4月	817,994	24,182	204,334	91,857	212,287	13,287	109,737	24,853	11,628	0	10,930	114,899
前年同月比%	112.7	113.9	119.6	100.4	118.6	124.8	103.6	114.5	117.7	0.0	110.2	109.1

## 製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								計	①輸送機械部品	②電気通信部品		③その他部品	中空成形容器					その他の容器
2015	5,618,053	2,207,678	230,847	111,702	54,062	397,497	43,360	629,166	462,999	114,783	51,384	289,613	499,451	270,801	296,556	248,548	73,915	264,857
2016	5,659,988	2,237,187	219,915	113,163	56,952	387,232	44,136	645,925	483,702	112,949	49,274	298,382	485,244	298,216	293,869	251,038	73,983	254,746
2017	5,808,801	2,286,546	219,856	114,362	56,006	398,821	45,458	672,089	505,463	115,038	51,588	301,609	502,846	327,908	283,809	249,400	77,117	272,974
2018	5,883,291	2,311,711	215,415	119,513	58,439	394,465	44,892	683,616	518,568	114,134	50,914	301,071	510,028	357,973	274,138	251,866	72,080	288,084
2019	5,736,059	2,246,155	202,543	104,389	58,854	383,893	49,465	693,999	527,733	116,142	50,124	284,340	493,982	353,688	268,932	243,780	74,149	277,890
2020.11月	478,542	186,356	18,299	8,333	4,257	32,397	3,683	62,256	48,902	9,247	4,107	25,337	36,393	29,366	21,670	22,134	5,716	22,345
前年同月比%	97.1	96.3	100.1	89.4	83.4	91.7	90.1	108.8	112.6	97.7	94.8	104.2	92.7	93.9	91.4	100.9	91.3	95.9
2020.12月	455,355	175,417	17,126	7,335	4,166	33,633	3,717	60,679	47,522	9,157	4,000	24,795	34,306	26,357	20,297	20,064	5,589	21,874
前年同月比%	98.4	98.4	101.1	88.7	88.1	95.1	95.2	110.8	113.4	104.7	97.5	105.2	94.9	87.0	89.5	99.7	92.3	100.1
2021.1月	424,067	165,524	16,702	6,754	4,092	26,402	3,638	55,658	43,143	8,653	3,862	21,842	31,271	27,721	19,873	18,822	5,203	20,565
前年同月比%	96.8	99.6	99.9	92.5	86.2	83.8	94.9	96.6	95.1	102.6	100.4	95.6	90.4	108.3	95.8	96.1	91.1	96.8
2021.2月	448,373	174,954	16,412	7,777	4,531	26,149	3,620	58,883	45,668	8,999	4,216	24,607	35,339	27,944	20,697	19,471	5,754	22,235
前年同月比%	97.7	99.3	94.9	92.6	94.5	92.3	84.0	96.4	94.2	102.9	108.5	100.9	94.8	100.4	94.3	98.9	98.4	102.7
2021.3月	508,916	195,008	19,303	8,611	5,225	32,154	3,911	67,198	52,670	9,975	4,553	27,047	42,233	34,431	22,103	21,194	5,689	24,809
前年同月比%	103.1	102.7	110.9	95.3	104.1	101.9	103.4	103.6	102.5	106.9	109.9	103.7	100.7	111.6	100.4	100.8	90.2	105.1
2021.4月	491,179	193,071	19,594	8,426	4,690	22,992	3,944	60,531	46,332	9,724	4,475	28,660	42,603	35,013	21,958	20,807	5,257	23,633
前年同月比%	103.6	98.2	105.7	99.2	104.9	88.3	100.7	128.9	134.9	108.5	123.1	104.6	100.6	122.9	104.0	100.1	90.0	102.5

(経済産業省データ加工)

## 【会員の動き】

### ■代表者の変更（登録代表者）

昭和アルファックス株式会社

代表取締役社長 松下 幸一（前：浅野 章久）

### ■役職位の変更（登録代表者）

阪神化成工業株式会社

代表取締役会長 高田 順一（前：代表取締役社長）

ミュキ化成株式会社

代表取締役会長 延澤 泰明（前：代表取締役社長）

## 共創

### 「伝える」

私の家は兼業農家で、小学校2年生からコンバインに乗って稲刈りをしていました。6年生のころには圃場に入り外周1周だけ父親が刈り取りをし、あとは私がやっていた記憶があります。そのころから父親には「段取り八分」とよく言われていました。当時は何のことだか意味が分からず、ただ聞いていただけでした。今は仕事の仕方を教えてくれたのだと分かります。その後、兼業農家をやめたので息子にはそれを伝える機会はなくなりました。

2021年4月より65歳以上の雇用が努力義務となりました。何年か経つと「努力」が取れて「義務」だけが残る社会になるでしょう。体が動くうちは働いて社会貢献や社会と関りを保ちたいと考える方、働いた対価としての金銭で旅行や食事を楽しまれる方等、考え方は様々だと思います。

私は社会に出て40年以上働いて得た仕事の技術・考え方・対処方法・発想など次世代へ伝える時間が5年できたかと前向きにとらえようと思います。

その伝え方ですが、今は直接話をするより顔を合わせずにメールで済ませるほうが良いという方も多々いらっしゃいます。メールは記録として残すには便利な手段なのですが、伝えるという観点では文章を相手はどう読み取ったのか反応が分からず、還暦までカウントダウンの私にとっては怖くて多用はできません。直接会って会話をするから、電話になってメールになって、どんどん伝える手段は便利になってきているのに、伝えきれない思いが膨らんでいます。

周りを見渡すと自分の考え方や思いを相手に上手に伝えることができる方がやはり仕事ができるのではないかと感じています。私自身、この後ベトナムへ赴任予定ですが文化の違う国で翻訳を通した言葉でどこまで自分の考えや思いを伝えることができるのか不安はたくさんあります。ただ今は「シンチャオ」から始めて異国を楽しんで来ようと思っています。

最後に私は息子に何を伝えて親を卒業するか思案中です。

(株)リッチェル 島津 則雄

### 《編集委員会》

編集委員長	門前 昌志	(阪神化成工業(株))
編集委員	西村 源信	(三光合成(株))
〃	谷田 雄彦	(株)タカギセイコー
〃	河内 猛	(株)リッチェル
〃	濱井 泉	(株)碓井製作所



### 富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)

〒930-0866 富山市高田529番地

TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310

URL <http://www.kenpla.jp> E-mail [info@kenpla.jp](mailto:info@kenpla.jp)

### 編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響にて、各事業が中止となり会報も発刊中止となりました。今年度は、感染対策を実施して事業を開催そして、会報を発刊できたこと大変安堵しています。まだまだ影響が続いている状況下で、会員の皆様方との情報交換を深めた事業ができていません。ワクチン接種も開始され、一日も早い終息により、活発な事業へ取り組んで行きたいと思っています。

今回から会報編集委員には新たなメンバーを迎えて進めることとなりました。長年お世話を頂いていた喜多様には、心から感謝いたします。

最後に、会報の発刊にあたり、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

事務局 安田(記)